

●通史的な把握 地質・考古・歴史・民俗に加えて「現代史・地理学」を入れる。

●ガバナンスのあり方、意識的ガバナンス、無意識的ガバナンス

半自然草原 放牧と、野と森の管理、

縄文時代も野は広い意味での鹿などの獣の放牧場か

草原の利用 鹿などの牧場 無意識のガバナンス時代

牛馬の牧場 意識的

草の利用場

場の利用 演習地・観光・墓場（焼き場）・住宅地

●草原の種類 平坦な「原」の利用 草地とすると「野」と呼ばれる

「野」は場所が時代の中で変化 「野」→畑地 →水田

「野」→墓

中世後半から山頂部を草地化し利用する。

村の草刈り場、山城

●定量的変化 草地の面積の変化を定量化するには、「野」と呼ばれた場所がどのように変化したかを追いかける。

●阿蘇の社領 郡浦社は建久年間に阿蘇社領として組織化されるが、郡浦と阿蘇の牧、阿蘇社との関係は、古代、古墳時代に遡れるか。郡浦から魚を貢納している。

●サハリン班との関係